

人が動く、国土が躍動する。

国土交通省



みなと しみず

発行

中部地方整備局
清水港湾工事事務所

清水港事務所
御前崎港事務所
下田港事務所

平成15年度 港湾整備事業内容・予算

平成15年度の予算は下表の通り、当事務所の管轄する3港で39億4千万円となっています。

清水港では平成11年度から工事に着手した新興津(-15m)岸壁が完成し、今年6月に新興津コンテナターミナルが供用されます。本年度は、同ターミナルの利便性と安全性を向上するため、新興津地区の防波堤と泊地の整備を行います。

御前崎港では、女岩地区の岸壁(-14m)が完成し、多目的国際ターミナルとして平成16年1月に供用開始の予定です。本年度は、航路泊地の整備と港内静穏度を確保するため防波堤(東)のケーソン製作及び、防波堤(西)のケーソン据付を行います。防波堤(西)については環境協調型防波堤として整備していきます。

下田港は、避難港として整備を進めています。本年度は防波堤(東)でケーソン2函の製作と据付、防波堤(西)では、双胴型ケーソンの内部に消波ブロックの据付を行います。



▲下田港：防波堤(西)の双胴型ケーソン内部に消波ブロックを据付ける様子
手前は防波堤(東)



1. 平成15年度港湾整備費

(単位:千円)

港名	整備目的	地区	施設名	事業費	事業内容
清水港	港内静穏度、船舶の安全航行	外港地区	防波堤(改良)	240,000	消波工
	"	新興津地区	防波堤	660,000	築造(基礎・本体・据付・消波工)
	国際海上コンテナターミナルの整備	"	泊地(-15m)	860,000	浚渫工
計				1,760,000	
御前崎港	港内静穏度、船舶の安全航行	女岩地区	防波堤(東)	120,000	築造(本体)
	"	"	防波堤(西)	616,000	築造(基礎・据付・上部・消波)
	船舶の安全航行	"	航路泊地(-14m)	540,000	浚渫工
計				1,276,000	
下田港	荒天時に対する船舶の安全避難	下田地区	防波堤	909,000	築造(基礎・本体・据付・上部・消波工)
計				909,000	
合 計				3,945,000	



〈清水港新興津コンテナターミナル〉

清水港新興津岸壁建設の経過

新興津岸壁（-15m）工事は平成11年度に現地着工し、床堀・浚渫工事にはじまり基礎石の投入、ケーソンによる岸壁の建設、背後の埋立を行い、今年3月には管理者施工のスーパーガントリークレーン3基の設置や直轄範囲（岸壁施設）の最終工程である舗装工事の施工も完了し、6月の供用開始を待つばかりとなっています。

今回整備した新興津岸壁は、3大湾以外では初めての-15mの水深をもつ岸壁で、5万トンを超える大型コンテナ船が喫水調整しないで入港着岸が可能になります。

また、今まで5大港でしか使用されていなかったスーパーガントリークレーンの設置により、アウトリーチが18列対応になることから、オーバーパナマックス型といわれる大型コンテナ船が積載調整をしなくてすみ作業の効率化が図られます。

今後、ふ頭用地の整備や第2バースの整備を行うことによりさらに使いやすいコンテナターミナルになることが期待されています。

■コンテナ船の大型化■

類型 (主力となる就海年代)	船幅(m)	船型の分布		
		船長(m)	積載能力 (TEU)	必要岸壁水深(m)
アンダーパナマックス (1966~1980)	17~31	110~210	~1700	~12
パナマックス (1980~1990)	32	210~270	1900~3400	12~14
パナマックスマックス (1980年代後半~)	32	289~294	3000~4300	14~15
オーバーパナマックス (1995~)	32~	262~	4100~	15~

新興津岸壁は水深15mだよ



清水港紹介パンフレットが県知事最優秀賞受賞

静岡県では、仕事のやり方の改善、改良に取り組む“ひとり一改革運動”を行っており、年2回表彰をしています。

平成14年度の年間最優秀賞に清水港管理局（県）、旧清水市・港振興課（市）、当事務所（国）の3者が協働して製作した清水港の紹介パンフレット“清水港って どんどこ？”が選ばれました。

清水港にはたくさんのお見学者が訪れますが、それぞれ独自のパンフレットを使用して案内をしていましたが、重複する内容も多くあり、そこで3者協働で製作することで、内容の充実を図り、それぞれ独自の情報も盛り込むことにより、予算は3倍、情報量は5倍のパンフレットとなりました。

今年度も一部を最新情報に更新して、平成15年度版を3者で発行する予定になっています。



〈3者で製作したパンフレット〉



■ 当事務所のホームページアドレス ■
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp/index.html>

海とみなと なかの国女性懇談会

3月23日清水港で第1回「海とみなと なかの国女性懇談会」が開催されました。国土交通省中部地方整備局の主催で行われたこの懇談会は、みなとに求められる機能が多様化する中、地域の貴重な意見を伺い、市民と行政と一緒に“みなとまちづくり”を推進することを目指して開催され、今後も中部地方の港湾4ヶ所で行う予定です。

第1回目の今回は、メンバーの自己紹介をはじめ、徒歩で日の出地区を視察した後、船で海上から港を見ていただきました。その後、事務所会議室にて「みなとの景観、旅客船の利用」を主なテーマに、港に関する情報



〈当事務所会議室で意見交換会〉

交換や実際にみなとを見て感じた事、課題などの意見交換がなされました。

今後の懇談会で出された意見や課題等を取りまとめ、地域の方々と行政が協力しながらどのような“みなとまちづくり”を行っていくか提言していただく予定になっています。



〈昭和時代に使用されていた荷役機械「テルファー」(文化財指定)を視察〉

港カメラウオッチング・写真展

清水港・日の出岸壁石張り舗装の完成を記念して3月23日に「港カメラウオッチング」を開催しました。

当日は清水港の整備状況や港の役割を紹介するブースや港内見学会、また完成した石張り舗装を効果的にとりいれた写真コンテストなどを行いました。

監督測量船「まさき」に乗船して行った港内見学では、6月に供用開始される新興津岸壁に設置されたスーパーガントリークレーンや間近でみるコンテナ船の大きさに驚きの声が上がっていました。

写真コンテストで金賞に選ばれたのは、イベント当日に当事務所のイメージキャラクター“ベーズ”と肩車をした親子が遊んでいるところを撮影した中田百合子さんの作品に決定しました。

5月3日にBay'sホール(当事務所1階)で表彰式を行い、入賞された方々に加藤総務課長から賞状と記念品をお渡ししました。

コンテストの応募作品は、5月3日から11日までBay'sホールに展示し、来所された皆さんにご覧いただきました。



〈金賞を受賞された中田さん〉



ベーズ君とチビっ子
肩車で親子ファミリー



金賞

豪華客船“クリスタルハーモニー”寄港



〈クリスタルハーモニー〉

4月12日に豪華客船“クリスタルハーモニー”が日の出埠頭に寄港しました。クリスタルハーモニーは、昨年4月に寄港したクリスタルシンフォニーの姉妹船です。

今回の寄港は当初、香港等を巡る予定のクルーズでしたが、戦争・テロや重症急性呼吸器症候群(SARS)の乗客への感染を回避するため、寄港地を変更したことに伴い急きょ決定したものでしたが、当日、歓迎セレモニーなどが行われ、日の出埠頭は大勢の人で賑わいました。



〈歓迎セレモニー〉

宮城島弘正元清水市長に感謝状

清水港が所在する清水市は、平成15年4月に静岡市と合併して新「静岡市」となりました。

宮城島氏は、昭和60年8月から5期18年に渡って清水市長を務められ、在任中、清水港の発展に多大な足跡を残されました。

その業績をたたえ、港湾功労者として、4月10日に山田孝嗣副局長から感謝状と記念品が贈られました。



〈山田副局長から宮城島元清水市長に渡される感謝状〉

第64回黒船祭

5月16日から18日の3日間、下田の各地で第64回黒船祭が開港150周年のイベントとして賑やかに開催されました。

市内目抜き通りでは、日米音楽隊の演奏や開港当時の服装をした黒船道中などのパレードや稲生沢川では“日米イカダ乗り競漕”が開催されました。

イカダ乗り競漕には全部で103漕が参加し、当事務所も2チームエントリーしましたが、昨年引続き海上保安部のチームが優勝しました。



〈日米イカダ乗り競漕〉



〈黒船道中〉

みなとづくり見学会

みなとづくり見学会とは、地域コミュニケーション（広報広聴）活動の一環として、港に関する講座や実際に港を見学してもらい、国民のみなさんに広く“みなと”の果たす役割を理解していただくために行っています。



〈講座中の様子〉

実施日	団体名
5. 14	静岡市役所部長会
5. 21	静岡市議会経済消防委員会
(清水港実施)	

事務所管内の主な動き



3. 23	日の出岸壁自然石舗装完成記念 港カメラウオッチング	5. 27	下田港港湾建設工事安全協議会総会
	海とみなと なかの国女性懇談会	6. 3	静岡県港湾振興会総会 静岡県港湾整備促進大会
4. 15	御前崎港工事安全協議会総会	6. 19	第34回清水港 みなと色彩計画推進協議会
4. 22	清水港港湾建設工事安全協議会総会		
5. 3~11	港カメラウオッチング「写真コンテスト」 表彰式 3日／作品展示 3日~11日	6. 24	新興津コンテナターミナル供用開始式典



全国共通フリーダイヤル
海とみなとの相談窓口



〔受付時間〕

9時～12時
13時～17時

※土・日、祝祭日除く



- ・海やみなとの利用
- ・総合的な学習の時間
- ・みなとの防災
- ・海洋土木技術
など、何でもお問合せ下さい

おいに よくなる みなと
0120-497-370